

# おいしだ

大石田町

## 大石田の夜を彩る 大輪の花

令和2年7月豪雨 ..... P 2~7  
 新しい農業委員・  
 最適化推進委員を紹介 ..... P 8  
 町職員を募集 ..... P 12

■表紙写真  
 町内有志団体によるサプライズ花火(8月9日)  
 8月9日(日)に町内有志団体によって、サプライズ花火が打ち上げられました。これは、有志団体の「コロナ禍や令和2年7月豪雨などにみんな負けないで元気に頑張ってほしい」という思いと「皆さんの悪疫退散」を願って実施されたものです。

広報 **おいしだ** 2020/8 No.770  
 編集・発行 大石田町総務課 〒999-4112 山形県北村山郡大石田町緑町1番地 ☎0237-35-2111 FAX 0237-35-2118  
 印刷 (有)印刷文化堂

### 〜おぼいしだのよとよぼがあひしたげむ〜

#### かいや じぞう 海谷の地蔵

海谷の部落は昔、最上川のほとりの地蔵屋敷という場所にあったそうです。

宝暦七年(一七五七)、くる日もくる日も雨が降り続き、最上川が大洪水と化してしまいました。それで海谷の部落のほとんどが流されてしまい、命びろいした部落民は、再び流されてはならぬと現在の場所に移ったのです。

その時に部落の氏神として奉ってあった地蔵様が濁流に流され、日本海まで流れてしまったのです。その洪水がおさまってから夜になるときまわって吹浦の海で、毎晩のように海の上で光るものが現れて吹浦の人々を不思議がらせたのです。さつそく村人たちは神様にお聞きしたところ、

「これは大石田の海谷部落から流されて来た地蔵様が、海谷に戻りたくって、人々に自分の居場所を知らせるのだ。」

といわれました。村人たちは急いで光る所に行つて見たところ、海の底に地蔵様があります。それを救いあげて、海谷の人々に知らせてくれました。海谷部落の人々は、最上川に舟をくり出して吹浦まで地蔵様を迎えに行き、海谷部落に戻ったところ、まさしく以前の地蔵様でありました。それからというものは光るようなこともなくなったということです。

○出典 『北村山地方の民話 (伝説編一)』

(滝口国也／編著、東根市民話の会／刊、大石田町立図書館所蔵)



先日の豪雨災害におかれまして、被災された多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今回のお話は、江戸時代の大洪水で移転した海谷地区にまつわる昔話です。

江戸時代中期の宝暦七年(一七五七)、梅雨の末期に降り続いた雨により、最上川が大洪水となってしまいました。この宝暦七年の大洪水は、海谷村だけでなく、大石田の他の村にも被害をもたらしましたが、特に海谷村は未曾有の大洪水となりました。

『大石田町史史料編五』にある記録「諸願覚留メ帳」には、前代未聞の大洪水で村中の家屋等が流出したことや、洪水から逃れた時の様子などが記されています。また、『北村山郡史』に「海谷村記録」の記述が残っており、「海谷村ハ元丹生川ノ最上川ニ落チ合フ西方ニ在リ、現今ノ豊田ト丹生川ヲ隔テ、相對セリ、寶暦ノ大洪水ニテ滅亡シ、一村今ノ海谷ニ轉任ス。」と、宝暦の大洪水の後に海谷村が移転したことが分かります。

今回のお話の中で、地区の氏神であった地蔵様が洪水により庄内の吹浦地区まで流れ着いたとされていますが、洪水で川や海などに流れ着いた地蔵様のお話は全国にもいくつかみられます。昔から大きな川がある地域や水害が多い土地にこういったお話が多く残っていますが、最上川も川の氾濫や洪水の歴史があり、古くから川が人々の暮らしと結びついていたことを踏まえると、様々な伝承があったのではと考えます。最上川周辺の洪水時の様子がわかる貴重なお話です。

○出典・参考文献

・『北村山郡史 上巻』(北村山郡役所／編、名著出版／刊)  
 ・『大石田町史資料編五 亀井田・横山地区史料I』  
 (大石田町史編集委員会／編、大石田町／刊)



※この人数は外国人も含めたものです。

町の人口 令和2年8月1日現在	
世帯数	2,334戸 (+1)
総人口	6,798人 (-14)
男	3,336人 (-9)
女	3,462人 (-5)
(7月中の異動)	
出生	1人
転入	7人
死亡	9人
転出	14人

#### 楽がき帳

表紙の写真は、8月9日(日)に実施された町内有志団体によるサプライズ花火の打ち上げにお邪魔した時のものです。

実はこの時、実施団体の方のご厚意で花火の打ち上げ場所の近くまで入らせていただけることになり、地域おこし協力隊の大野さんと動画の撮影のためにお伺いしました。打ち上げは豊田、海谷、鷹巣の順で行われる段取りで、私たちは鷹巣の打ち上げ場所にお邪魔しました。なんとヘルメットを着用すれば、打ち上げ場所からほんの30m離れた場所で撮影しても良いとのこと。想像以上の近さに期待と不安の2人でしたが、いざ打ち上げが始まると空一面に広がる大迫力の花火に不安は吹き飛び、途中から当初の目的を忘れて楽しんでしまいました。

この時の花火の動画は、動画サイトYouTubeで「たつたい」と検索していただくだけでもいただけます。ぜひご覧ください。(松)